

第52回研究発表会 島根大会 プログラム

大会日程：平成25年8月28日(水)～9月1日(日)

●8月28日(水) 県民講演会 18：00～20：00

島根県民会館 中ホール
〒690-0887 島根県松江市殿町158 TEL：0852-22-5506 FAX：0852-24-0109

18：05～19：00 「出雲神話『ヤマタノオロチ』と斐伊川の自然災害の関わり」
講師： 藤岡 大拙 氏 (NPO法人 出雲学研究所理事長)

19：00～19：55 「内陸直下地震の強震動予測と地震防災」
講師： 岩田 知孝 氏 (京都大学防災研究所副所長・教授)

●8月29日(木) 開会式・研究発表会・意見交換会

島根県民会館
中ホール、展示ホール、第1、2多目的ホール、大会議室、303会議室、307会議室
〒690-0887 島根県松江市殿町158 TEL：0852-22-5506 FAX：0852-24-0109

受付 8：30～9：30
開会式 9：30～10：10
特別講演 10：20～12：10
研究発表会 13：00～17：00
意見交換会 18：00～20：00 (ホテル一畑 サンシャインホール)

特別講演
『山陰—“中山間地域”の斜面災害』
講師： 横田 修一郎 氏 (島根大学 名誉教授)
『What behind the landslides: Story from the 2008.5.12 Wenchuan Earthquake』
講師： 黄 潤秋 氏 (成都理工大学 副学長 教授)
『設立50周年を迎えた日本地すべり学会—活動と今後の展望』
講師： 檜垣 大助 氏 ((公社) 地すべり学会会長 弘前大学 教授)

●8月30日(金) 研究発表会

研究発表会 9：30～12：15
ポスターセッション・コアタイム 13：15～14：15
研究発表会 14：15～16：45
閉会式 17：00～17：20

●8月29日(木)～30日(金) 新技術紹介セッション (第1、2多目的ホール)

8月29日(木) 13:00～17:00
8月30日(金) 9:30～16:00

●8月31日(土) (～9月1日(日)) 現地見学会

研究発表会 口頭発表プログラム

会場	第1会場 中ホール	第2会場 3階 大会議室	第3会場 3階 303会議室	第4会場 3階 307会議室	
部門	事例報告	地すべり機構・斜面安定	調査計測・特別セッション	国際シンポジウム	
8月29日 (木)	12:55～	学会編集委員会よりお知らせ			
	13:00	13:00～14:15 事例報告(5件) 1-1～1-5	13:00～14:15 地すべり機構(5件) 2-1～2-5	13:00～14:15 調査計測(5件) 3-1～3-5	13:00～15:10 Cold Region Landslides 4-1～4-8
	～	14:20～15:35 事例報告(5件) 1-6～1-10	14:20～15:35 地すべり機構(5件) 2-6～2-10	14:20～15:35 調査計測(5件) 3-6～3-10	
17:00	15:40～16:55 事例報告(5件) 1-11～1-15	15:40～16:55 地すべり機構(5件) 2-11～2-15	15:40～16:55 調査計測(5件) 3-11～3-15	15:20～16:20 Cold Region Landslides 総合討論	
8月30日 (金)	9:25～	学会編集委員会よりお知らせ			
	9:30	9:30～10:45 事例報告(5件) 1-16～1-20	9:30～10:45 地すべり機構(5件) 2-16～2-20	9:30～11:05 特別セッション 地すべりダム(6件) 3-16～3-21	
	～	11:00～12:15 事例報告(5件) 1-20～1-25	11:00～12:15 地すべり機構・斜面安定 (5件) 2-16～2-20	11:15～11:40 特別セッション 総合討論	
	12:15	(休憩)			
	～				
	13:15	ポスターセッションコアタイム(展示ホール)			
～					
14:15	14:15～15:15 事例報告(4件) 1-26～1-29	14:15～15:15 斜面安定(4件) 2-26～2-29	14:15～15:15 調査計測(4件) 3-21～3-24		
～	15:30～16:45 事例報告(5件) 1-30～1-34	15:30～16:30 斜面安定(4件) 2-30～2-33	15:30～16:30 調査計測(4件) 3-25～3-29		
16:45					
17:00	ポスター賞表彰 閉会式				
～					
17:20					

・8月29日12:55～13:00、8月30日9:25～9:30に各会場にて学会編集委員会より連絡事項があります

- ・以下に会場ごとの発表プログラムを添付します。
- ・口頭発表は、質問も含めて15分です。
- ・口頭発表者のお名前を先頭にしました。所属は口頭発表者のみ表示いたしました。

●8月29日(木) 13:00～14:15

第1会場

【一般セッション:事例報告】

座長:生島 潤一(日本工営株式会社)、副座長:二木 重弘(株式会社 エイト日本技術開発)

- 1-1 島根県における地すべり災害事例(1)
片山 直樹(株式会社 日本海技術コンサルタンツ)・武志 賢一
- 1-2 島根県における地すべり災害事例(2)
武志 賢一(株式会社 日本海技術コンサルタンツ)・片山 直樹
- 1-3 石見銀山遺跡の斜面でみられる浮石の特徴
小村 徹(株式会社 コスモ建設コンサルタント)
- 1-4 北海道,長流川中流域の大規模地すべり(その1):地形・地質と最近の活動
田近 淳(北海道立総合研究機構 地質研究所)・石丸 聡・川上 源太郎・高橋 良
- 1-5 北海道,長流川中流域の大規模地すべり(その2):GPS観測から得られた変動の推移
石丸 聡(北海道立総合研究機構 地質研究所)・田近 淳・田村 慎・川上 源太郎・岡崎 紀俊

●8月29日(木) 14:20～15:35

第1会場

【一般セッション:事例報告】

座長:浅野 志穂(独立行政法人 森林総合研究所 九州支所)、副座長:日浦 啓全(元高知大学)

- 1-6 北海道における融雪による道路斜面災害の事例研究
伊東 佳彦(独立行政法人 土木研究所 寒地土木研究所)・倉橋 稔幸・日下部 祐基・
宍戸 政仁・大日向 昭彦
- 1-7 平成24年7月九州北部豪雨により阿蘇市で発生した流動性地すべりの発生機構
福岡 浩(京都大学 防災研究所)・松四雄輝・古谷 元・齋藤 仁
- 1-8 芋川流域地震地すべりにおける地すべり移動量と斜面長の関係
上松 昌勝(一般財団法人 砂防・地すべり技術センター)・綱木 亮介・相楽 渉・綱川 浩章・
丸井 英明
- 1-9 芋川流域の地震地すべりにおける地下水水質の特徴 その1
肥塚 高之(株式会社 興和)・山邊 康晴・綱川 浩章・相楽 渉・綱木 亮介・丸井 英明
- 1-10 芋川流域の地震地すべりにおける地下水水質の特徴 その2～地すべり移動状況と水質との関係～
相楽 渉(一般財団法人 砂防・地すべり技術センター)・綱木 亮介・綱川 浩章・肥塚 高之・
山邊康晴・丸井 英明

●8月29日(木) 15:40～16:55

第1会場

【一般セッション:事例報告】

座長:林 一成(奥山ポーリング株式会社)、副座長:土井 一生(京都大学)

- 1-11 崖条例による建築禁止距離を踏まえた地震時における斜面崩壊範囲の評価
～2011年芸予地震によって被災した宅地造成地を例として～
駒井 尚子(大阪大学)・秦 吉弥・常田 賢一・一井 康二
- 1-12 常時微動H/Vスペクトルを用いたサイト増幅特性の経験的補正方法に基づく強震波形の評価
～2011年芸予地震によって被災した宅地造成地を例として～
秦 吉弥(大阪大学)・駒井 尚子・常田 賢一・一井 康二
- 1-13 地震時における地すべり地の挙動と対策工効果
高橋 明久(奥山ポーリング株式会社)・林 一成・阿部 真郎・檜垣 大助
- 1-14 地震時における地すべり抑止工の効果に関する研究
野田 稔久(独立行政法人 土木研究所)・千田 容嗣・阿部 大志・武士 俊也・柚木脇 政浩・
中島 祐一
- 1-15 奥鬼怒地域の地震(2013.2.25)による斜面災害分布
若井 明彦(群馬大学 理工学研究院)

●8月30日(金) 9:30～10:45

第1会場

【一般セッション:事例報告】

座長:内山 庄一郎(独立行政法人 防災科学技術研究所)、副座長:山村 充(国土防災技術株式会社)

- 1-16 宮城県気仙沼大島・宮戸島における地形条件を活用した東日本大震災からの復興検討
檜垣 大助(弘前大学)・千葉 文絵・新沼 威弘
- 1-17 仙台市太白区緑ヶ丘における強震動と都市域斜面災害の関係
村尾 英彦(株式会社 村尾地研)・釜井 俊孝
- 1-18 バッファ移動分析とAHP法を用いた地震地すべりの危険度評価
林 一成(奥山ポーリング株式会社)・濱崎 英作・檜垣 大助・綱木 亮介・野村 康裕
- 1-19 地震誘因地すべり危険度評価への利用を背景とした地震動評価マップの作成
梅村 順(日本大学)
- 1-20 京都周辺における歴史時代の土砂生産と天井川の形成
釜井 俊孝(京都大学 防災研究所)・中塚 良

●8月30日(金) 11:00～12:15

第1会場

【一般セッション:事例報告】

座長:渡部 直喜(新潟大学)、副座長:福井 一彦(株式会社 ウエスコ)

- 1-21 2011年台風12号豪雨で発生した葛野川流域の山腹崩壊
滝口 潤(明治コンサルタント株式会社)・井上 宏・吉屋 正樹
- 1-22 深層崩壊に伴う河道閉塞の形状の数値解析による検討
太田 敬一(日本工営株式会社)・杉町 英明・斉藤 収功・中島 祐一・河合 政岐・竹原 哲郎
- 1-23 大規模岩盤地すべりとしての砥沢地すべりにおける問題点とその対応
今川 順(秋田県 由利地域振興局農林部)・高橋 明久・小野 圭・佐藤 義史
- 1-24 亀の瀬地すべりにおける地震時の斜面安定性について(その1)
山下 裕之(一般財団法人 砂防・地すべり技術センター)・相楽 渉・上松 昌勝・向井 啓司・
平松 健・藤本 美枝子
- 1-25 八幡平澄川流域斜面で発生した粘稠型地すべりの運動パターンと地温変動の特性について
柴崎 達也(京都大学 防災研究所)・須藤 充・松浦 純生

●8月30日(金) 14:15～15:15

第1会場

【一般セッション:事例報告】

座長:道畑 亮一(一般財団法人 砂防・地すべり技術センター)、副座長:井上 真(株式会社 ウエスコ)

- 1-26 群馬県内における道路吹付法面の健全度調査に関する基礎的検討
畠中 優(群馬大学 大学院)・江口 喜彦・関 晴夫・宇次原 雅之・中野 亮・若井 明彦
- 1-27 群馬県内における道路吹付法面の維持管理手法に関する検討
中野 亮(日建設株式会社)・宇次原 雅之・若井 明彦・畠中 優・江口 喜彦・関 晴夫
- 1-28 発掘された自然災害遺構で採取した砂質土の液状化判定
亀山 ひろみ(群馬大学 工学部)・田畑 あすみ・若井 明彦
- 1-29 低周波の電界による土中センサデータの無線伝送
遠目塚 良一(坂田電機株式会社)・中里 裕臣・寺田 剛

●8月30日(金) 15:30～16:45

第1会場

【一般セッション:事例報告】

座長:相楽 渉(一般財団法人 砂防・地すべり技術センター)、副座長:國清 智之(株式会社 ワールド測量)

- 1-30 法令から見た土砂災害
稲垣 秀輝(株式会社 環境地質)

8月30日(金) 15:30~16:45 第1会場【一般セッション:事例報告】 続き 第1会場

- 1-31 土砂災害の危険度推定への衛星雨量の利用に関する事例研究
清水 孝一(独立行政法人 土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター)・岡積 敏雄・バドリ・シュレスタ
- 1-32 地すべりの側部領域における調査の必要性について
横山 賢治(日本エルダルト株式会社)・入手 麻実
- 1-33 長期間連続して移動した地すべりの動態観測記録と変形機構
齊藤 龍太(株式会社 藤井基礎設計事務所)・藤井 俊逸・新宮 敦弘
- 1-34 伊豆半島中部の横ずれ断層系会合部における地すべり地形分布とその特徴
八木 浩司(山形大学)・佐藤 剛

●8月29日(木) 13:00~14:15 第2会場

【一般セッション:地すべり機構】

座長:蔡 飛(群馬大学)、副座長:中井 真司(復建調査設計株式会社)

- 2-1 Model test on failure process of landslide triggered by water level variation in reservoir
Hufeng YANG(Shimane Univ.)・Fawu WANG
- 2-2 Investigation on Failure Mechanism of Tandikat Landslide, West Sumatra, Indonesia
Fikri FARIS(Shimane Univ.)・Fawu WANG
- 2-3 Influence of geotechnical properties on landslide dam failure due to internal erosion and piping
Austin Chukwueloka OKEKE(Shimane Univ.)・Fawu WANG
- 2-4 豪雨により発生する地すべりの三次クリープ発生メカニズムと物理モデル
Atitkagna DOK(京都大学 防災研究所)・福岡 浩・勝見 武・乾 徹
- 2-5 地震エネルギーと大規模崩壊
川邊 洋(新潟大学)

●8月29日(木) 14:20~15:35 第2会場

【一般セッション:地すべり機構】

座長:笹原 克夫(高知大学)、副座長:横山 修(国土防災技術株式会社)

- 2-6 凝灰質粘土の軟化特性を考慮した地震地すべりの力学的検討
深津 貴之(群馬大学)・若井 明彦・篠崎 智至・田中 成季・西村 友良・早田 勉
- 2-7 火山灰質粘性土から成る斜面で発生した地震地すべりの再現解析
福島 文将(群馬大学 工学研究科)・深津 貴之・若井 明彦・蔡 飛・鶴飼 恵三
- 2-8 山地崩壊の分類
高谷 精二(南九州大学)
- 2-9 鳶泥と国見泥(結報)-立山カルデラ内深層崩壊調査のまとめと今後の課題-
野崎 保(野崎技術士事務所)・菊川 茂
- 2-10 2011年台風12号で発生した奈良県赤谷深層崩壊の地質構造規制
横山 俊治(高知大学)・井口 隆・永田 秀尚・加藤 弘徳・木村 克己

●8月29日(木) 15:40~16:55 第2会場

【一般セッション:地すべり機構】

座長:柴崎 達也(京都大学)、副座長:北村 晴夫(株式会社 宇部建設コンサルタント)

- 2-11 四万十累層群クリープ斜面を形成した深部せん断帯とその破壊
山崎 勉(国土防災技術株式会社)
- 2-12 新潟県宇津俣地すべり地におけるNa-CI型地下水の湧昇過程
佐藤 壽則(株式会社 日さく)・小林 淳一・伊藤 健二・裨田 佳彦・渡部 直喜

- 2-13 人工降雨による砂質土の斜面崩壊発生までの浸透水およびせん断変形
岡田 康彦(独立行政法人 森林総合研究所)
- 2-14 臨界安全率時のすべり面における間隙水圧挙動
眞弓 孝之(国土防災技術株式会社)・木下 篤彦・坂井 佑介・竹本 真士・小田 芳照・柴崎 達也
- 2-15 鳥田目断層,長町-利府断層と松島
盛合 禧夫(東北工業大学)・山田 孝雄

●8月30日(金) 9:30~10:45 第2会場

【一般セッション:地すべり機構】

座長:古谷 元(富山県立大学)、副座長:山口 巖(日本工営株式会社)

- 2-16 北海道津別町,チメケップ湖地すべりの変動履歴
納谷 宏(明治コンサルタント株式会社)・菅谷 拓人・植松 聡・佐々木 純生・牧野 勇治・伊藤 陽司
- 2-17 鳥尻層群泥岩の地すべり土と非地すべり土のせん断強度特性
平松 良康(琉球大学 大学院農学研究科)・中村 真也
- 2-18 断層粘土及び地すべり粘土の鉱物に関する研究-地すべり粘土生成過程と円形度の関係-
北澤 秋司(山地環境防災研究所)
- 2-19 高速岩盤地すべりにおけるすべり面の特徴
鈴木 真悟(奥山ボーリング株式会社)・小松 順一・阿部 真郎
- 2-20 地盤伸縮計に見られる地すべりの歪に関する考察
神原 規也(株式会社 エイト日本技術開発)

●8月30日(金) 11:00~12:15 第2会場

【一般セッション:地すべり機構・斜面安定】

座長:茂木 俊(株式会社 日さく)、副座長:幸前 徹(株式会社 シマダ技術コンサルタント)

- 2-21 海底地すべりの内部摩擦角および海底ケーブルへの衝撃力に関する実験的研究
桑田 庸平(島根大学)・汪 発武・本多 満貴・園山 智和
- 2-22 斜面の遠心場振動実験とNewmark法の適用性について(その1)
島端 嗣浩(東電設計株式会社)・信岡 卓・石丸 真・原口 和靖
- 2-23 斜面の遠心場振動実験とNewmark法の適用性について(その2)
信岡 卓(東電設計株式会社)・島端 嗣浩・石丸 真・原口 和靖
- 2-24 大規模な斜面崩壊の発生機構についての数値解析を用いた一考察
碓屋 智之(日本工営株式会社)・太田 敬一・徳永 博・倉岡 千郎
- 2-25 地すべりにおける三次元斜面安定解析の適用事例
花本 孝一郎(株式会社 ワールド測量設計)・國清智之・福田 勝久

●8月30日(金) 14:15~15:15 第2会場

【一般セッション:斜面安定】

座長:新井場 公德(消防庁 消防研究センター)、副座長:山邊 康晴(株式会社 興和)

- 2-26 新しい準三次元安定解析方法の一提案
蔡 飛(群馬大学)・鶴飼 恵三
- 2-27 グラウンドアンカーが施工された法面の健全性評価に関する検討
藤原 優(三重大学 生物資源学研究所リサーチフェロー)・酒井 俊典
- 2-28 SAAMジャッキを用いたアンカー法面の面的調査
酒井 俊典(三重大学 大学院)・藤原 優・阪口 和之・磯嶋 治康
- 2-29 土のダイレイタンスに注目した切土施工時の斜面安定度評価の試み
笹原 克夫(高知大学)・伊藤和也

●8月30日(金) 15:30~16:30

第2会場

【一般セッション:斜面安定】

座長:石丸 聡(北海道立総合研究機構 地質研究所)、副座長:高橋 明久(奥山ポーリング株式会社)

2-30 地すべり臨界水位の経年変動

猿田 茂秀(日本エルダルト株式会社)・土屋 智

2-31 アンカー工を有する模型斜面の遠心場振動実験の解析

森 聡(株式会社 ニュージェック)・西村 昇・信岡 卓・小早川 博亮・原口 和靖

2-32 アンカー工を有する斜面の地震時安定性評価

西村 昇(株式会社 ニュージェック)・森 聡・平川 芳明・小早川 博亮・原口 和靖

2-33 抑止杭工を有する斜面の地震時安定性評価

戸田 孝史(鹿島建設株式会社)・小早川 博亮・原口 和靖

●8月29日(木) 13:00~14:15

第3会場

【一般セッション:調査計測】

座長:杉本 宏之(独立行政法人 土木研究所)、副座長:山本 亮介(株式会社 地研)

3-1 奄美大島崩壊・地すべり土の残留強度特性

大瀬 杏奈(琉球大学 大学院)・中村 真也

3-2 土構造物の予防保全のための調査・設計・対策法に関するひとつの提案

太田 英将(有限会社 太田ジオリサーチ)

3-3 簡易動的コーン貫入試験による斜面内部の軟弱粘土層の推定の試み

田中 成季(群馬大学)・篠崎 智至・若井 明彦・西村 友良・早田 勉

3-4 地表変形に基づく斜面の崩壊時間予測手法の検討

新井場 公德(消防庁 消防研究センター)・酒井 直樹

3-5 地すべり地における地上設置形レーザースキャナ等による変動把握について

三輪 賢志(独立行政法人 土木研究所)・武士 俊也・武田 大典・坂野 弘太郎・樽角 晃・小松崎 弘道・下村 博之

●8月29日(木) 14:20~15:35

第3会場

【一般セッション:調査計測】

座長:納谷 宏(明治コンサルタント株式会社)、副座長:田中 昭雄(株式会社 地研)

3-6 年間数mmで変位する斜面の計測とその考察

小早川 博亮(一般財団法人 電力中央研究所)・久野 春彦

3-7 日本全国の地すべり地形分布図の刊行完了

内山 庄一郎(独立行政法人 防災科学技術研究所)・大八木 規夫・土志田 正二・清水 文健・佐野 綾子・小倉 理

3-8 北但地域における巨大地すべりの水文地質特性

小松 慎二(応用地質株式会社)・遠藤 司・山本 寛

3-9 結晶片岩地すべりに関する連続地温計測による流動地下水脈の動態観測

古谷 元(富山県立大学 工学部)・末峯 章・高野 祐典・王 功輝・新井場 公德

3-10 豪雪地帯の再活動型地すべり地における間隙水圧の観測

松浦 純生(京都大学)・岡本 隆・岡田 康彦・大澤 光・柴崎 達也・中町 聡・阿部 和時

●8月29日(木) 15:40~16:55

第3会場

【一般セッション:調査計測】

座長:三輪 賢志(独立行政法人 土木研究所)、副座長:藤村 尚(元鳥取大学)

3-11 由比地すべりに関する観測・監視体制に関する取組み(1)ー自動観測システムの災害耐性の強化ー

齊藤 雅志(国土防災技術株式会社)・新宅 幸夫・遠藤 久巳・村野 幸宏・末松 良清・寺田 秀樹・土佐 信一

3-12 由比地すべりに関する観測・監視体制に関する取組み(2)ー観測機器の維持管理手法の検討ー

土佐 信一(国土防災技術株式会社)・新宅 幸夫・遠藤 久巳・村野 幸宏・寺田 秀樹・齊藤 雅志

3-13 切土中の斜面崩壊による労働災害防止のための計測ーその1:変遷と現状ー

伊藤 和也(独立行政法人 労働安全衛生総合研究所)

3-14 切土中の斜面崩壊による労働災害防止のための計測ーその2:現場での計測結果ー

南雲 政博(国土防災技術株式会社)・笹原 克夫・伊藤 和也・内村 太郎・矢野 真妃・西條 敦志・王 林

3-15 SAAMジャッキを用いたアンカー工の荷重管理および情報化施工事例について

常川 善弘(三重大学 大学院/株式会社 相愛)・酒井 俊典・松田 誠司・市橋 義治

●8月30日(金) 9:30~11:40

第3会場

【特別セッション:地すべりダム】

座長:秦 吉弥(大阪大学)・王 功輝(京都大学 防災研究所)、副座長:徳永 博(日本工営株式会社)

3-16 Identifying the large deformation of a reservoir bank slope in Laxiwa Hydropower Station, China

Dexuan ZHANG (上海交通大学)・Gonghui WANG

3-17 土石流が通過した地すべりダム

永田 秀尚(有限会社 風水土)

3-18 Dynamic analysis of the Niuniangou rock avalanche triggered by the May 12, 2008 Wenchuan earthquake, Sichuan, China

Aiguo XING (上海交通大学)・Gonghui WANG

3-19 微動アレー法による地すべりダム内部構造探査

三谷 康博(島根大学 大学院)・汪 発武・Austin C. OKEKE・桑田 洋平・Hufeng YANG・Fikri FARIS

3-20 Shearing rate effect on residual shear strength of natural soils obtained from mudstone landslide areas of Niigata, Japan

Gyanu Ratna Tuladhar (株式会社 興和)・鈴木 直文・Binod Tiwari・丸井 英明

3-21 四川大地震により発生した東河口天然ダムの内部構造と安定性評価について

王 功輝(京都大学 防災研究所)・黄 潤秋・釜井 俊孝

(総合討論)

●8月30日(金) 14:15~15:15

第3会場

【一般セッション:調査計測】

座長:長谷川 陽一(国土防災技術株式会社)、副座長:末峯 章(京都大学)

3-22 雲仙・普賢岳における溶岩ドームの変位観測と移動機構の推定

倉岡 千郎(日本工営株式会社)・萬徳 昌昭・杉山 光徳・戸高 智範・山越 隆雄・中島 祐一・田島 靖久

3-23 平成23年東北地方太平洋沖地震で崩壊した火山灰質土質の地盤特性の比較

山村 充(国土防災技術株式会社)・長谷川 陽一・柴崎 達也

8月30日(金) 14:15~15:15 第3会場【一般セッション:調査計測】 続き

- 3-24 地震動および既存の地盤情報に基づく地質と斜面災害分布との関係の分析
木村 尚意(群馬大学)・田中 頼博・林 一成・若井 明彦・塚原 健太
- 3-25 地すべり地における地震の観測例Ⅱ
末峯 章(京都大学 防災研究所)・加納 靖之・王 功輝

●8月30日(金) 15:30~16:30

【一般セッション:調査計測】

座長:岡田 康彦(独立行政法人 森林総合研究所)、副座長:田村 浩行(応用地質株式会社)

- 3-26 志津地すべりでの高密度ステップ孔内試験
菖蒲 幸男(応用地質株式会社)・浅野目 和明・松村 大志
- 3-27 地すべり斜面浅層地下水の深度別観測
奥山 武彦(山形大学)
- 3-28 山形県七五三掛地すべりにおける省力型3次元電気探査の事例
西川 裕輔(株式会社 日さく)・佐藤 壽則・西元 研二・古谷 尊彦・伊藤 健二・渡辺 寛・寺田 剛
- 3-29 TDEM法による地すべり地比抵抗構造調査
中里 裕臣(農研機構)・井上 敬資・寺田 剛

第3会場

第3会場

●8月29日(木) 13:00~16:20

【国際シンポジウム: Cold Region Landslides】

座長: Chunxiang WANG(Niigata University, Japan)、

副座長: Yasumasa FUJIWARA(Eight-Japan Engineering Consultants Inc., Japan)

- 4-1 An Overview of Cold Region Landslides
Hideaki Marui (Niigata University, Japan)・Chunxiang Wang
- 4-2 Formation Mechanism and Stability analysis of the Bei'an to Heihe Expressway K177 Landslide
Hua JIANG (Northeast Forestry Univ., China)・Wei SHAN・Zhaoguang HU
- 4-3 Research on formation mechanism of permafrost landslide
Zhaoguang HU (Northeast Forestry Univ., China)・Wei SHAN
- 4-4 Monitoring and experiment on the effect of freeze-thaw on soil cutting slope stability
Ying GUO (Northeast Forestry Univ., China)・Wei SHAN
- 4-5 Beihei Highway Ground Deformation Relative Ground Temperature Factor Interpretation Based on Remote sensing Imagery Technology
Chunjiao WANG (Northeast Forestry Univ., China)・Wei SHAN・Ying GUO・Zhaoguang HU・Hua JIANG
- 4-6 A Failure Mechanism of Semi Infinite Slope in the Snow Melt Season
Takeshi ITO (Akita University, Japan)
- 4-7 Residence-time of ground waters from the Shizu landslide in the southern foot of Mt. Gassan, Northeast Japan
Naoki WATANABE (Niigata University, Japan)・Kohei KOMIYAMA・Yasushi OMURA・Hiroshi MORIYA・Kazuyoshi ASAI
- 4-8 Numerical simulation and analysis of snowmelt-caused landslide in Kokugawa, Joetsu City, Niigata Prefecture
Chunxiang WANG (Niigata University, Japan)・Naoki WATANABE・Hideaki MARUI

(総合討論)

第4会場

●8月30日(木) 13:15~14:15(コアタイム)

展示ホール

【ポスターセッション】

- P-1 島根県の土砂災害の歴史
今村 隆正(株式会社 防災地理調査)・彌富 涼子
- P-2 大黒山北麓の地すべりについて
原 裕二(株式会社 コスモ建設コンサルタント)
- P-3 地震によって発生した流動化地すべり発生箇所の地形・地質的特徴について
杉本 宏之(独立行政法人 土木研究所)・中野 英樹・樽角 晃・武士 俊也・石井 靖雄
- P-4 融雪地すべりが長距離移動する条件の検討
木村 誇(独立行政法人 土木研究所雪崩・地すべり研究センター)・畠田 和弘・桂 真也・丸山 清輝・秋山 一弥・野呂 智之
- P-5 沖積扇状地面で停止する地すべり土塊の堆積形状に関する考察
畠田 和弘(独立行政法人 土木研究所雪崩・地すべり研究センター)・木村 誇・桂 真也・丸山 清輝・秋山 一弥・野呂 智之
- P-6 火星・マリネリス峡谷における二次すべり堆積物が示す低H/L
福岡 浩(京都大学 防災研究所)・
平成24年度京都大学ポケットゼミ「地球型惑星の環境地圏科学」グループ
- P-7 発掘された自然災害遺構調査のための少量の土試料を用いた沈降分析法による粒度分析
田畑 あすみ(群馬大学 大学院)・亀山 ひろみ・若井 明彦
- P-8 阿蘇カルデラ内壁斜面の崩壊地周辺の浸透能
浅野 志穂(独立行政法人 森林総合研究所九州支所)・清水 晃・吉永 秀一郎・新井場 公徳
- P-9 東北地方太平洋沖地震が与えた地すべり対策工施工済み斜面の特徴
千田 容嗣(独立行政法人 土木研究所)・阿部 大志・野田 稔久・石井 靖雄・武士 俊也
- P-10 凝灰質粘土の軟化特性を考慮した地震地すべりの地形・地質的検討
篠崎 智至(群馬大学)・若井 明彦・田中 成季・深津 貴之・西村 友良・早田 勉
- P-11 地すべりにおける不規則な地下水位のモデル化方法に関する考察
—基之助谷地すべりにおける観測地下水位を例として—
倉岡 千郎(日本工営株式会社)・牧野 孝久・太田 敬一・細谷 健介・藤田 重敏・安達 忠浩
- P-12 地すべり地の地質構造と水質形成
田中 昭雄(株式会社 地研)・日浦 啓全・横山 俊治
- P-13 地すべり地における間隙水圧と移動量に関する検討
丸山 清輝(独立行政法人 土木研究所)・野呂 智之
- P-14 異常気象時の斜面変動現象:二畝ノ谷地すべり地における観測結果
王 功輝(京都大学 防災研究所)・末峯 章・松浦 純生・新井場 公徳
- P-15 Geochemical constraints on the origins of ground water from the Kostanjek landslide
in the western part of Zagreb, Croatia
Naoki Watanabe(Niigata University)・Satoshi Yamamoto・Chunxiang Wang・Gen Furuya・
Martin Krkač・Snježana Mihalčić Arbanas
- P-16 クロアチアのリエチナ川流域で想定される土砂災害の数値シミュレーション
王 純祥(新潟大学)・丸井 英明・渡部 直喜・古谷 元
- P-17 地すべり調査コアへの近赤外分光分析の利用
磯野 陽子(株式会社 エイト日本技術開発)・木村 隆行・鬼武 裕二・中嶋 悟
- P-18 樹脂固定標本を用いた微細構造分析によるすべり面の認定について
武士 俊也(独立行政法人 土木研究所)・
共同研究「すべり層のサンプリングと認定方法に関する研究」グループ
- P-19 豪雪地帯における地すべり移動体の浸透能試験
大澤 光(京都大学 大学院)・松浦 純生・岡本 隆・松四 雄騎・寺島 智己・中町 聡・平島 寛行

- P-20 立体視地図を用いた地すべり地形判読・理解度向上事例
佐藤 直行(一般財団法人 砂防・地すべり技術センター)・綱木 亮介・高田 浩穂・佐藤 健一
- P-21 地上設置型合成開口レーダーによる溶岩ドームのモニタリング
中島 祐一(日本工営株式会社)・萬徳 昌昭・杉山 光徳・戸高 智範・山越 隆雄・倉岡 千郎・
田島 靖久
- P-22 奈良県五條市の大規模地すべりにおける地下水観測孔仕上げと観測結果
宇都 忠和(株式会社 エイト日本技術開発)・八杉 信・長谷川 健太・小林 勇二・藤原 康正
佐田 真
- P-23 加熱式地下水検層による地すべり地の地下水調査事例
桂 真也(独立行政法人 土木研究所 雪崩・地すべり研究センター)・畠田 和弘・丸山 清輝・
木村 誇・秋山 一弥
- P-24 部分ストレーナ観測孔によって計測された地下水位の変動特性の評価
中野 英樹(独立行政法人 土木研究所)・杉本 宏之・樽角 晃・武士 俊也・石井 靖雄・北原 哲郎
- P-25 応力解放比によるすべり面形状の評価
木村 隆行(株式会社 エイト日本技術開発)・橋尾 宣弘
- P-26 熱水変質岩の点載荷強さを考慮したAHP法に基づくランドスライドハザードマッピングの試み
河野 勝宣(鳥取大学)・前田 寛之
- P-27 水抜きボーリング保孔管の目詰まり防止方法の研究
北村 晴夫(株式会社 宇部建設コンサルタント)・鈴木 素之・鈴木 祐麻・畠 俊郎・米山 航・尾山 昇
- P-28 地下水排除施設に設置した集水管閉塞防止装置の効果
秋山 一弥(独立行政法人 土木研究所雪崩・地すべり研究センター)・丸山 清輝・木村 誇・
畠田 和弘・野呂 智之
- P-29 土砂災害警戒情報システムの妥当性
藤村 尚(鳥取大学)・山本 秀樹
- P-30 地理空間情報等の共有推進にむけた提案
内山 庄一郎(独立行政法人 防災科学技術研究所)・檜垣 大助
- P-31 地すべり機構を直感的に捉える模型実験の紹介
齊藤 龍太(株式会社 藤井基礎設計事務所)・藤井 俊逸
- P-32 地すべり地における気球空撮
長谷川 陽一(国土防災技術株式会社)・山村 充・柴崎 達也
- P-33 稠密地震観測データから推定された1984年長野県西部地震震源域の地下不均質構造
土井 一生(立命館大学 理工学部)・野田 俊太・飯尾 能久・堀内 茂木・関口 涉次
- P-34 2004年新潟県中越地震により発生した地すべり変動と地震動の分析
田中 頼博(奥山ボーリング株式会社)・高橋 明久・林 一成・若井 明彦
- P-35 東北地方太平洋沖地震による中生界での斜面崩壊の特徴
千葉 則行(東北工業大学)・檜垣 大助
- P-36 静岡県浜北市天竜区春野町杉(門島地区)で発生した地すべりの初期対応について
八木 正道(静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課)・土屋 智・杉本 敏彦・井上 泰孝・
守屋 文雄・戸塚 佳寿好・田中 義朗